



日本触媒

2024年度（2025年3月期） 決算説明資料

2025年5月14日

株式会社日本触媒

代表取締役社長 野田 和宏

目次

I. 2024年度 実績

II. 2025年度 予想

III. 事業戦略と事業トピックス

IV. 株主還元

用語解説	
AA	アクリル酸
AES	アクリル酸エステル
SAP	高吸水性樹脂
EO	酸化エチレン
イオネル [®]	リチウムイオン電池用電解質
Zrシート	燃料電池用材料

2024年度通期実績【対前年 増収・増益】

売上収益	4,093億円	(+173億円)
営業利益	191億円	(+25億円)
税引前利益	232億円	(+75億円)
当期利益*1	174億円	(+64億円)

- スペシャルティケミカルズ・エレクトロニクス材料などのソリューションズ製品やAA・AESの数量が増加
- 持分法投資損益の改善

2025年度通期予想【対前年 減収・減益】

売上収益	4,050億円	(▲43億円)
営業利益	170億円	(▲21億円)
税引前利益	200億円	(▲32億円)
当期利益*1	150億円	(▲24億円)

- 両セグメントで販売数量が増加
- 物価上昇に伴う販管費の増加や円高の影響によるスプレッド縮小
- 米国関税による需要減の影響を一部算入
- 上記要因はあるものの、ソリューションズ事業は順調に拡大

(*1: 当期利益は、親会社株主に帰属する当期利益を指す)

I. 2024年度 実績

2024年度 業績の概要

(億円)	FY2023	FY2024	増減 増減率	
	通期	通期		
	実績	実績		
売上収益	3,920	4,093	+173	+4.4%
営業利益	166	191	+25	+15.1%
(利益率)	4.2%	4.7%	0.4p	-
持分法による投資損益	▲ 10	40	+50	-
税引前利益	157	232	+75	+47.4%
当期利益 ^{*1}	110	174	+64	+58.0%
ROE	3.0%	4.5%	1.5p	-
ROA	2.9%	4.3%	1.4p	-
ナフサ価格 (円/kL)	69,100	75,600	+6,500	+9.4%
円/ドル	145	153	+8	+5.5%
円/ユーロ	157	164	+7	+4.5%

(*1: 当期利益は、親会社株主に帰属する当期利益を指す)

セグメント別売上収益・営業利益

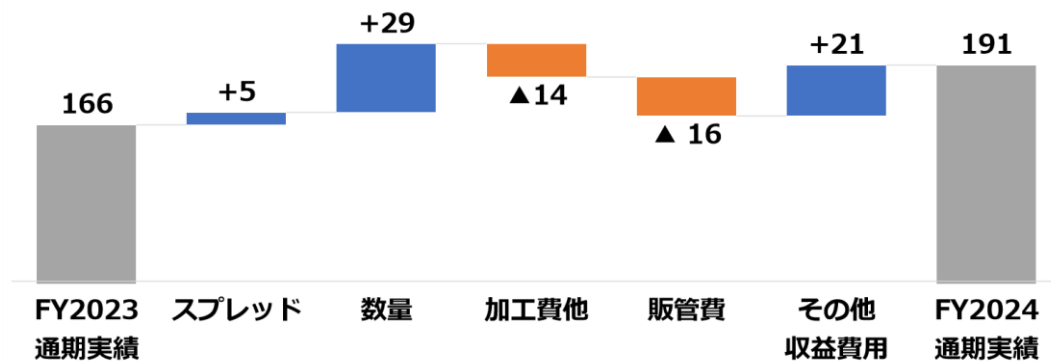
事業領域 (億円)	FY2023	FY2024	増減	増減率
	通期	通期		
	実績	実績		
AA・SAP	2,160	2,221	+61	+2.8%
ベーシックマテリアルズ他	678	720	+42	+6.2%
マテリアルズ事業 合計	2,838	2,941	+103	+3.6%
インダストリアル・ハウスホールド	806	861	+54	+6.8%
エネルギー・エレクトロニクス	264	282	+18	+6.7%
その他	11	10	▲ 2	▲13.3%
ソリューションズ事業 合計	1,082	1,153	+71	+6.5%
売上収益 合計	3,920	4,093	+173	+4.4%
マテリアルズ 事業	127	129	+2	+1.3%
ソリューションズ 事業	27	51	+24	+87.2%
全社共通	11	10	▲ 1	▲4.6%
営業利益 合計	166	191	+25	+15.1%

営業利益増減分析（全社）

- ・ マテリアルズ製品、ソリューションズ製品ともに販売数量が増加
- ・ 円安や中国子会社の減損損失の減少により増益

(内訳)

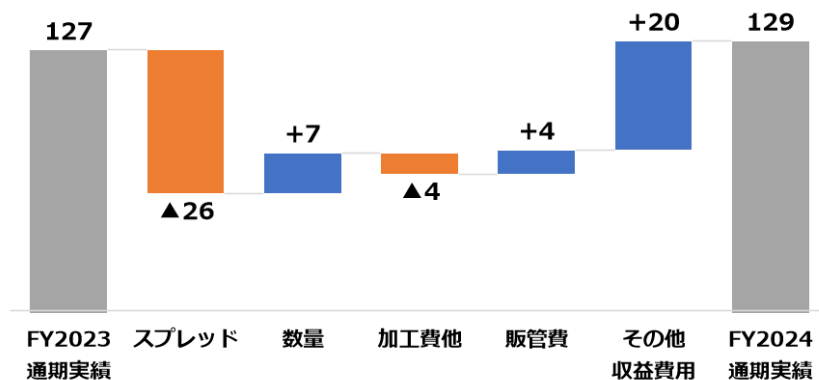
(億円)	営業利益		利益差	スプレッド			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用
	FY2023 通期実績	FY2024 通期実績		売価	変動費	在庫評価					
全社	166	191	+25	+5	+78	▲ 73	+29	▲ 14	▲ 9	▲ 16	+21



営業利益増減分析 (マテリアルズ)

(内訳)

(億円)	営業利益		利益差	スプレッド			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用
	FY2023 通期実績	FY2024 通期実績		売価	変動費	在庫評価					
マテリアルズ	127	129	+2	▲ 26	+21	▲ 47	+7	▲ 4	▲ 4	+4	+20

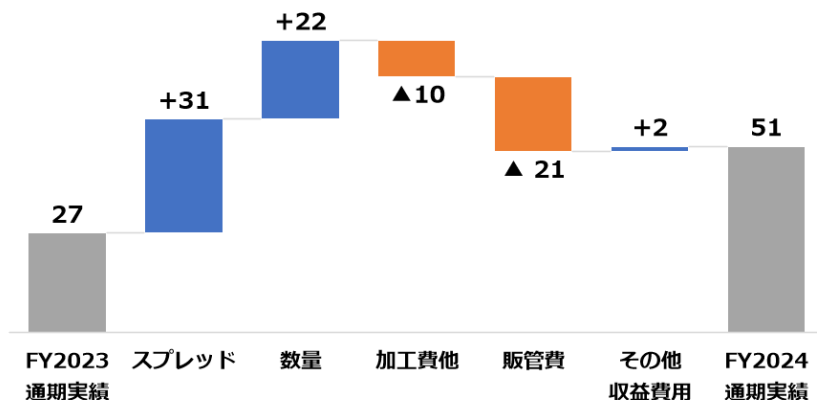


スプレッド	<ul style="list-style-type: none"> ・ SAP : 前年度の原料価格時期ずれ影響による利益の剥落および海外市況の低迷継続 ・ AA・AES : 海外市況の低迷継続
数量	<ul style="list-style-type: none"> ・ AA・AES : 新興国と国内の需要の取り込みにより数量増
加工費 販管費他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 販管費 : 海上輸送費の上昇も、販管費の減少により全体では費用減 ・ その他収益費用 : 固定資産減損 (中国子会社) の減少等

営業利益増減分析 (ソリューションズ)

(内訳)

(億円)	営業利益		利益差	スプレッド		数量	加工費他		販管費	その他 収益費用	
	FY2023 通期実績	FY2024 通期実績		売価	変動費		在庫評価				
ソリューションズ	27	51	+24	+31	+57	▲ 26	+22	▲ 10	▲ 5	▲ 21	+2



スプレッド	<ul style="list-style-type: none"> ・ インダストリアル・ハウスホールド： スペシャリティケミカルズ製品で売価上昇 円安の進行などによりスプレッド改善 ・ エナジー・エレクトロニクス： 電子情報材料での製品構成差や、円安の進行など によりスプレッド改善
数量	<ul style="list-style-type: none"> ・ インダストリアル・ハウスホールド： スペシャリティケミカルズ製品の需要が堅調に 推移し増販 ・ エナジー・エレクトロニクス： ディスプレイ関連需要の回復により数量増
加工費 販管費他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加工費他： 製造固定費の増加 ・ 販管費： ライフサイエンスなどの研究費の増加

Ⅱ. 2025年度 予想

2025年度 業績予想の概要

(億円)	FY2024	FY2025	増減 増減率	
	通期	通期		
	実績	予想		
売上収益	4,093	4,050	▲ 43	▲1.1%
営業利益	191	170	▲ 21	▲10.8%
(利益率)	4.7%	4.2%	▲0.5p	-
持分法による投資損益	40	23	▲ 17	▲42.7%
営業利益+持分法投資損益	231	193	▲ 38	▲16.4%
税引前利益	232	200	▲ 32	▲13.8%
当期利益*1	174	150	▲ 24	▲13.8%
ROE	4.5%	4.0%	▲0.5p	-
ROA	4.3%	3.6%	▲0.7p	-
ROIC*2	4.3%	3.5%	▲0.8p	-
ナフサ価格 (円/kL)	75,600	60,000	▲ 15,600	▲20.6%
円/ドル	153	140	▲ 13	▲8.3%
円/ユーロ	164	160	▲ 4	▲2.3%

新中期経営計画の利益目標「営業利益+持分法投資損益」を追加しています

(* 1 : 当期利益は、親会社株主に帰属する当期利益を指す * 2 : ROIC = (税引後営業利益 + 持分法による投資損益) ÷ (有利子負債 + 株主資本))

セグメント別売上収益・営業利益+持分法投資損益

事業領域 (億円)	FY2024	FY2025	増減	増減率
	通期	通期		
	実績	予想		
AA・SAP	2,221	2,124	▲ 97	▲4.3%
EO他	720	666	▲ 54	▲7.6%
マテリアルズ事業 合計	2,941	2,790	▲ 151	▲5.1%
スペシャリティ	516	514	▲ 1	▲0.3%
エレクトロニクス	209	237	+28	+13.4%
その他* ¹	428	509	+81	+18.9%
ソリューションズ事業 合計	1,153	1,260	+107	+9.3%
売上収益 合計	4,093	4,050	▲ 43	▲1.1%
マテリアルズ 事業	159	124	▲ 35	▲21.9%
ソリューションズ 事業	61	62	+1	+0.9%
全社共通	10	7	▲ 3	▲33.2%
営業利益+持分法投資損益 合計	231	193	▲ 38	▲16.4%

新中期経営計画に伴い、
2025年度より事業領域区
分を変更しています

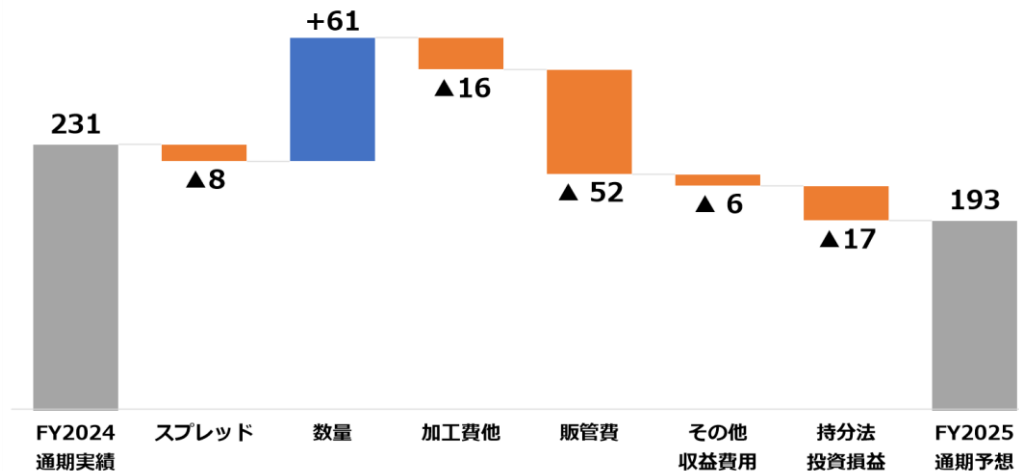
(*1: コンストラクション、エネルギー(電池、水素)、環境触媒、ハウスホールド、健康・医療等)

営業利益+持分法投資損益 増減分析 (全社)

- ・ 米国関税による需要減を織り込むも、販売数量は増加
- ・ 円高や販管費増加、持分法投資損益縮小により利益は減少

(内訳)

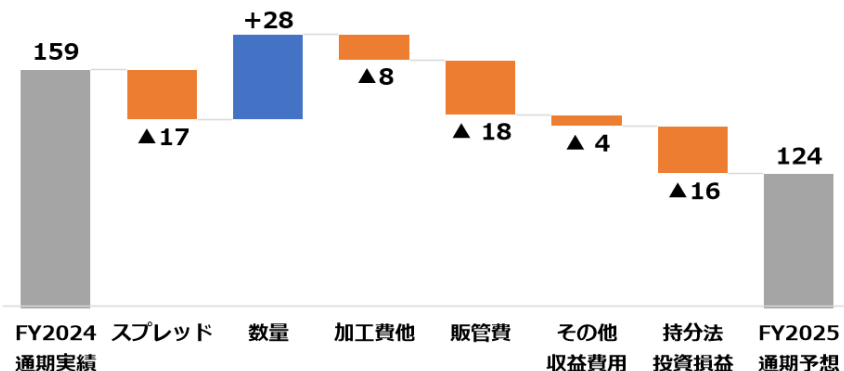
(億円)	営業利益+持分法投資損益		利益差	スプレッド			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用	持分法 投資損益
	FY2024 通期実績	FY2025 通期予想		売価	変動費	在庫評価						
全社	231	193	▲ 38	▲ 8	▲ 158	+149	+61	▲ 16	▲ 9	▲ 52	▲ 6	▲ 17



営業利益+持分法投資損益 増減分析 (マテリアルズ)

(内訳)

(億円)	営業利益+持分法投資損益		利益差	スプレッド			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用	持分法 投資損益
	FY2024 通期実績	FY2025 通期予想		売価	変動費	在庫評価						
マテリアルズ	159	124	▲ 35	▲ 17	▲ 156	+139	+28	▲ 8	▲ 1	▲ 18	▲ 4	▲ 16

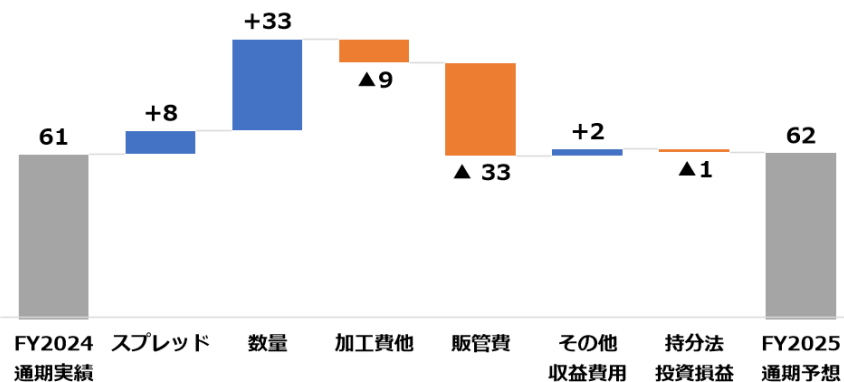


スプレッド	<ul style="list-style-type: none"> 特殊エステル、AA・AES、SAP： 円高や海外市況の低迷の影響でスプレッド縮小
数量	<ul style="list-style-type: none"> SAP： 新興国での拡販により数量増
加工費 販管費他	<ul style="list-style-type: none"> 販管費： 数量増加に伴う運搬費の増加 持分法投資損益 市況下落による持分法投資損益の悪化

営業利益+持分法投資損益 増減分析 (ソリューションズ)

(内訳)

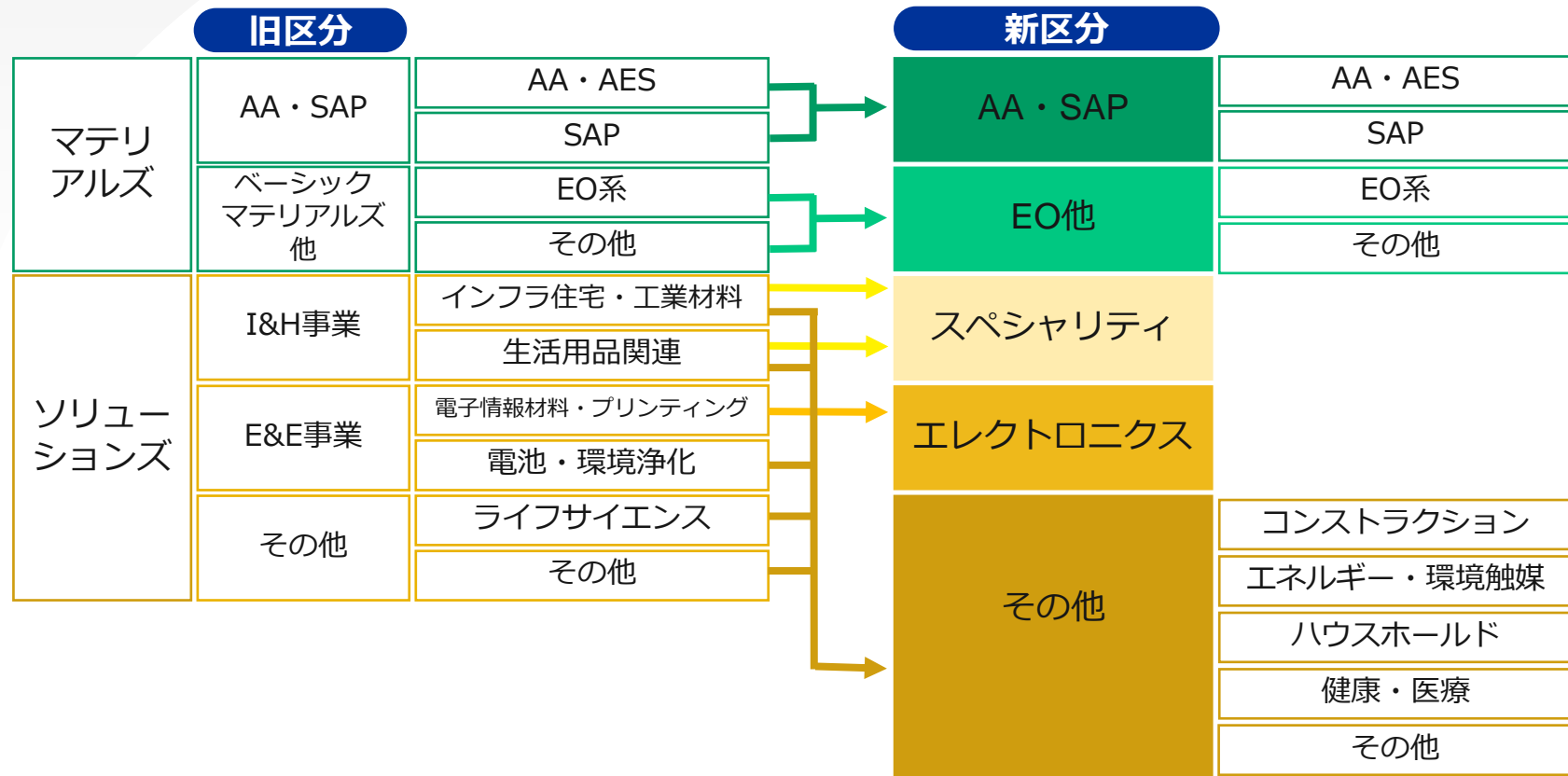
(億円)	営業利益+持分法投資損益		利益差	スプレッド			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用	持分法 投資損益
	FY2024 通期実績	FY2025 通期予想		売価	変動費	在庫評価						
ソリューションズ	61	62	+1	+8	▲ 2	+10	+33	▲ 9	▲ 7	▲ 33	+2	▲ 1



スプレッド	<ul style="list-style-type: none"> ・スペシャリティ： 各種アミン類、界面活性剤等でのスプレッド拡大
数量	<ul style="list-style-type: none"> ・エレクトロニクス： ディスプレイ関連材料の末端中国向け拡販 ・その他： イーテック子会社化に伴う数量増
加工費 販管費他	<ul style="list-style-type: none"> ・販管費： 研究費増加やイーテック子会社化に伴う増加 ・加工費他： 在庫評価差益の減少

事業領域の区分変更①

新中期経営計画（25～27年度）に伴い、2025年度より事業領域区分を変更しています



*エネルギー：
電池・水素

事業領域の区分変更②

新事業領域

マテリアルズ	AA・SAP	
	EO他	
ソリューションズ	スペシャリティ	
	エレクトロニクス	
	その他	コンストラクション
		エネルギー（電池・水素） 環境触媒
その他 ハウスホールド 健康・医療 その他		

主な製品

- アクリル酸・アクリル酸エステル
 - 高吸水性樹脂
-
- 酸化エチレン
 - エチレングリコール
 - 有機酸
 - 特殊エステル
 - プロセス触媒 他
-
- 各種アミン類
 - 水系架橋剤
 - 界面活性剤
- （主な子会社：日本乳化剤・中日合成）
-
- 光学フィルム用樹脂
 - レジスト材料
 - 微粒子
 - 色素
 - ヨウ素
- （主な子会社：日宝化学）
-
- セメント混和剤ポリマー
 - エマルション
-
- LIB*1用電解質
 - 電解質シート
 - アンモニア分解触媒
 - 排ガス処理触媒、排水処理触媒
-
- 洗剤原料
 - 核酸/ペプチドCDMO*2

*1：リチウムイオン電池

*2：医薬品開発製造受託機関、Contract Development and Manufacturing Organizationの略語

事業領域別 売上収益・営業利益・営業利益+持分法投資損益

事業領域 (億円)	売上収益				営業利益				営業利益+持分法投資損益			
	FY2024 通期 実績	FY2025 通期 予想	増減	増減率	FY2024 通期 実績	FY2025 通期 予想	増減	増減率	FY2024 通期 実績	FY2025 通期 予想	増減	増減率
AA・SAP	2,221	2,124	▲ 97	▲4.3%	95	81	▲ 14	▲15.1%	95	81	▲ 14	▲15.1%
EO他	720	666	▲ 54	▲7.6%	34	29	▲ 5	▲13.7%	64	43	▲ 21	▲32.1%
マテリアルズ事業	2,941	2,790	▲ 151	▲5.1%	129	110	▲ 19	▲14.7%	159	124	▲ 35	▲21.9%
スペシャリティ	516	514	▲ 1	▲0.3%	53	51	▲ 2	▲3.8%	53	51	▲ 2	▲3.8%
エレクトロニクス	209	237	+28	+13.4%	36	38	+1	+3.5%	36	38	+1	+3.5%
その他	428	509	+81	+18.9%	▲ 38	▲ 36	+3	+6.7%	▲ 28	▲ 27	+1	+4.5%
ソリューションズ事業	1,153	1,260	+107	+9.3%	51	53	+2	+3.6%	61	62	+1	+0.9%
全社共通					10	7	▲ 3	▲33.2%	10	7	▲ 3	▲33.2%
全社合計	4,093	4,050	▲ 43	▲1.1%	191	170	▲ 21	▲10.8%	231	193	▲ 38	▲16.4%

Ⅲ. 事業戦略と事業トピックス

新中期経営計画(25-27年度)のポイント

ポイント

ソリューションズ事業への積極的なリソース投入により、事業ポートフォリオの変革を図る

➡ 利益の50%超をソリューションズ事業で稼ぐ

マテリアルズ事業

事業強化策を実行し、収益力を高める

- 事業強化策 = 成長市場での拡販、地域需要に応じた生産体制再編（プラントの統廃合等）

AA/SAP

EO

ソリューションズ事業

積極的な投資（前中計期間の約2倍）を行い、事業規模と利益を拡大する

1 成長事業領域

スペシャリティ

エレクトロニクス

コンストラクション

エネルギー（電池）

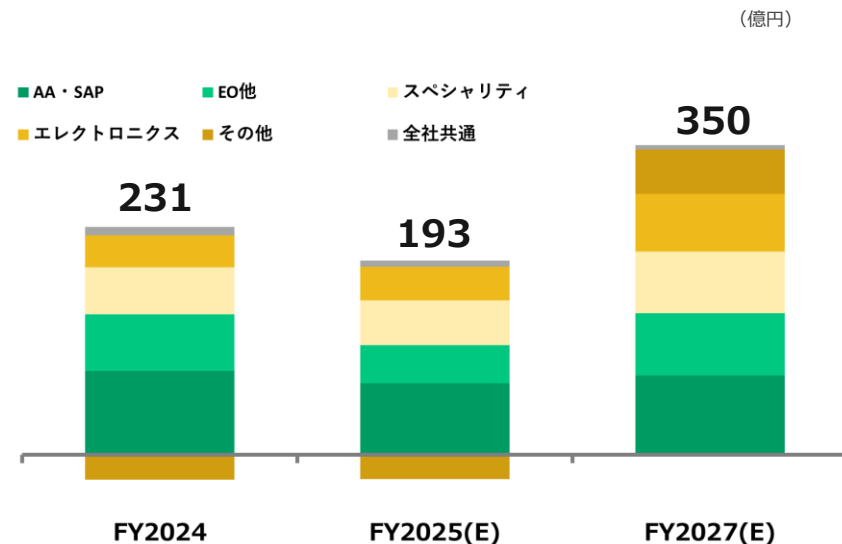
2 次世代事業領域

エネルギー（水素）

健康・医療

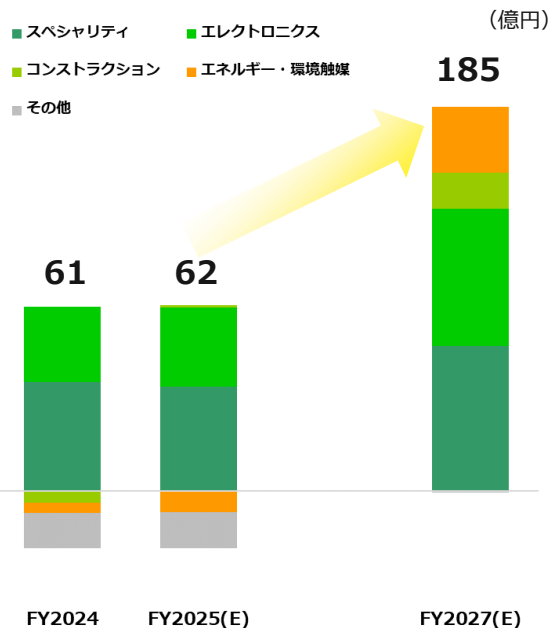
新中計 利益目標（営業利益＋持分法投資損益）

事業領域 (億円)	FY2024	FY2025(予想)	FY2027(予想)
AA・SAP	95	81	90
EO他	64	43	70
マテリアルズ事業	159	124	160
スペシャリティ	53	51	70
エレクトロニクス	36	38	65
その他*1	▲ 28	▲ 27	50
ソリューションズ事業	61	62	185
全体に占める利益比率	27%	32%	53%
全社共通	10	7	5
全社合計	231	193	350



(*1: コンストラクション、エネルギー（電池、水素）、環境触媒、ハウスホールド、健康・医療等）

ソリューションズ事業の利益拡大戦略



◆ 2027年度に向けて、設備増強や製品の採用が進み、大幅に利益が拡大

スペシャリティ

- 社会課題解決に繋がる製品・技術のタイムリーな提供により事業拡大
 - 水処理剤用・CO2吸収剤用アミン類の拡販
 - VOCフリー対応の水系架橋剤の拡販
 - 主要製品群の生産体制強化

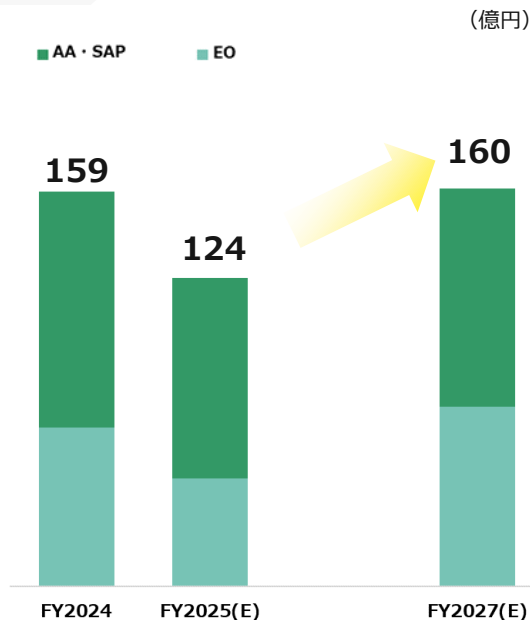
エレクトロニクス

- 光学制御技術・微粒子材料を軸としたニッチトップ製品の拡大
 - ディスプレイ用材料（光学フィルム用樹脂・微粒子）の大型・高精細液晶ディスプレイへの採用拡大および中国市場シェア拡大
 - 微粒子製造設備の能力増強

その他

- コンストラクション
 - 製品ラインナップ拡大（イーテック）と成長地域での事業展開
- エネルギー・環境触媒
 - 電池（電解質）：地産地消の戦略に沿った生産体制構築、中国JV利益拡大
- 健康・医療（中分子原薬CDMO事業）
 - 生産能力拡大による供給体制強化と受託案件の獲得件数拡大

マテリアルズ事業強化策



AA・SAP

- 成長市場への販売強化と、地域需要に応じた生産体制再編による効率化

AA

日本とインドネシアを中心に、最適生産・出荷体制を確立
世界5極の生産拠点で地産地消の要請に応える

SAP

グローバルサウス市場への販売強化
スクラップ&ビルドによる生産性の向上（インドネシア増設）

共通

バイオAAの製造体制確立
サステナブルSAPの開発促進

EO

- EO誘導品の拡充や受託事業拡大などによる既存EO生産能力の最大活用

- EO誘導品の拡充、EO付加製品の受託事業拡大
- EO出荷体制の強化、輸送網の拡充、安全輸送体制の維持
- 生産性向上（高度制御等）
- 他社とのアライアンス検討

◆2027年度に向けて、成長市場へのAA・SAP
拡販や生産性向上などにより利益が回復

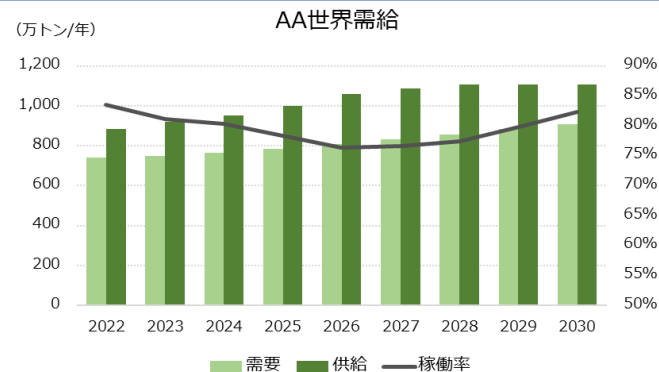
AA/SAP 世界需給動向

【AA】2027年で需給バランスが底打ち

■ 需給動向

需要 世界需要 約780万トン（2025年推定）
 中期的に年率3%の成長を見込む
 （新興国では5%以上の成長を想定）

供給 増設/停止計画世界合計（年産能力）
 2024年 ▲約 10万トン
 2025年 約 80-100万トン
 2026年以降 約 20-50万トン

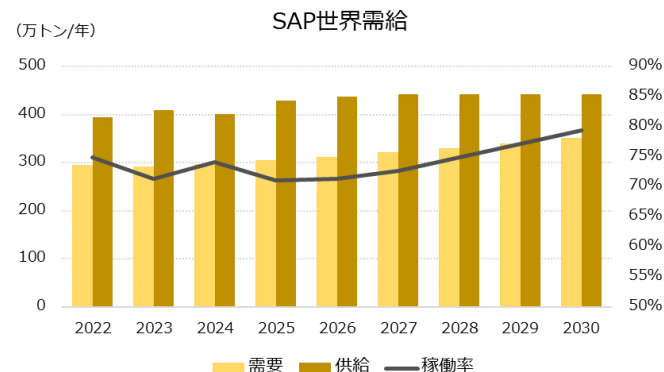


【SAP】2025年で需給バランスが底打ち

■ 需給動向

需要 世界需要 約300万トン（2025年推定）
 中期的に年率3%の成長を見込む
 （新興国では5%以上の成長を想定）

供給 増設/停止計画世界合計（年産能力）
 2024年 ▲約 10万トン
 2025年 約 30万トン
 2026年以降 約 10万トン



IV. 株主還元

株主還元

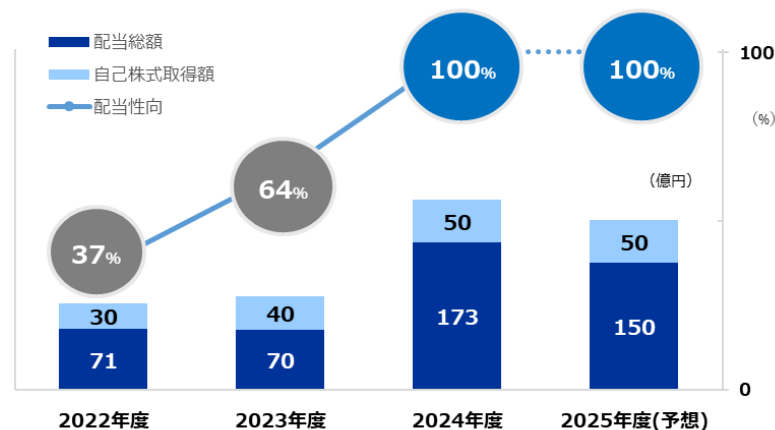
(配当金:円)	FY2023	FY2024	FY2025(予想)
中間	22.5	54.0	50.0
期末	22.5	60.0	50.0
年間	45.0	114.0	100.0

* 2024年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。
上記記載の配当金は分割後の金額で表示しています。

2024年度～2027年度までの株主還元方針

- ・ 配当性向100% または DOE※ 2.0% のいずれか大きい金額を配当する
- ・ 政策保有株式縮減等で得た資金で、自己株式を取得する

※DOE：株主資本配当率



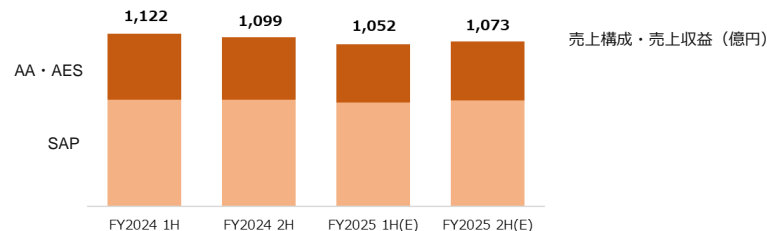
DOE	2.0%	1.9%	4.5%	約4.0%
総還元性向	52.2%	99.7%	128.2%	約130%

◆ 配当額は2025年度予想では減少するが、2027年度に向け大幅な増加を目指す

参考資料：事業の概況

事業の状況【AA・SAP】

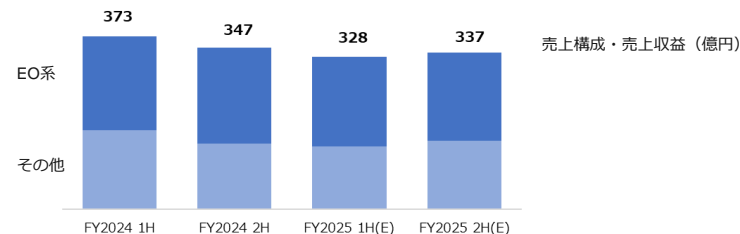
事業領域		主な製品
AA・SAP	AA/AES	アクリル酸 アクリル酸エステル
	SAP	高吸水性樹脂



事業領域	市場環境	当社の状況（対前年）	今後の取組み
AA/AES	<ul style="list-style-type: none"> 中国のオーバーサプライによる競争激化により、アジア市況は低調継続 国内需要は、自動車向けは堅調も建築向けは低調。AES輸入品の流入が増加傾向 	<ul style="list-style-type: none"> 海外市況の低調継続 インドを中心とした新興国向け拡販により販売数量増 特にインド向けAESは、NSIのBIS認証取得により販売数量増 	<ul style="list-style-type: none"> ◆短期 <ul style="list-style-type: none"> グループ全体の生産最適化 インドや東南アジアの需要の取込み ◆中長期 <ul style="list-style-type: none"> グループ全体のAA稼働最大化 安定的な販売先確保およびコスト削減策の実行
SAP	<ul style="list-style-type: none"> 新興国の子供向けや先進国の大人用おむつ需要が伸長する一方、インフレの影響等により世界需要は微増にとどまる見込み 	<ul style="list-style-type: none"> 新興国での拡販や国内再編に伴う需要取込みにより販売数量増 海外市況下落によりスプレッド縮小 	<ul style="list-style-type: none"> ◆短期 <ul style="list-style-type: none"> 新興国の市場成長に合わせた需要の取込み 大人用市場でのシェアアップ コスト削減による収益性向上 非衛材分野での拡販 ◆中長期 <ul style="list-style-type: none"> 中長期的な需要増加に向けた生産供給体制の検討 サステナブル対応（バイオ、リサイクル） インドネシアでの研究体制構築

事業の状況【EO他】

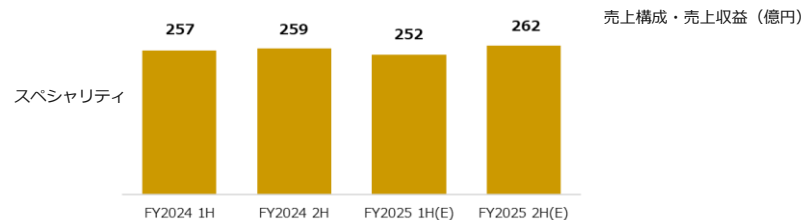
事業領域		主な製品
EO他	EO系	酸化エチレン エチレングリコール
	その他	有機酸 特殊エステル プロセス触媒



事業領域	市場環境	当社の状況 (対前年)	今後の取組み
EO他	<p>【EO系】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界的なEG需給バランスの軟化は継続 内需は界面活性剤用途を中心に低迷 	<p>【EO系】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内需低迷により販売数量減 固定費や修繕費、物流費等のコスト上昇 	<p>【EO系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆短期 <ul style="list-style-type: none"> 国内最大のEOメーカーとして、安定供給体制を維持 稼働最適化 EO誘導品の拡充 ◆中長期 <ul style="list-style-type: none"> 川上・川下・同業他社とのアライアンス検討

事業の状況【スペシャリティ】

事業領域	主な製品
スペシャリティ	各種アミン類 水系架橋剤 界面活性剤



事業領域	市場環境	当社の状況（対前年）	今後の取組み
スペシャリティ	<p>【各種アミン類】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界的な排水規制強化により、水処理関連需要は伸長する傾向 <p>【水系架橋剤】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境規制の厳格化により更なるニーズが期待される 	<p>【各種アミン類】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各顧客の需要回復により増販 水処理関連需要は堅調 <p>【水系架橋剤】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国競合(他安価架橋剤)の価格攻勢により販売苦戦 販売数量は前年並みに留まった 	<p>◆短期</p> <p>【各種アミン類】</p> <ul style="list-style-type: none"> 底堅い水関連市場への拡販に注力 <p>【水系架橋剤】</p> <ul style="list-style-type: none"> 低温硬化技術の公開による新規顧客獲得の加速 <p>◆中長期</p> <p>【各種アミン類、水系架橋剤】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境負荷低減ニーズの高まりに見合った製品の開発、市場への展開を目指す

事業の状況【エレクトロニクス】

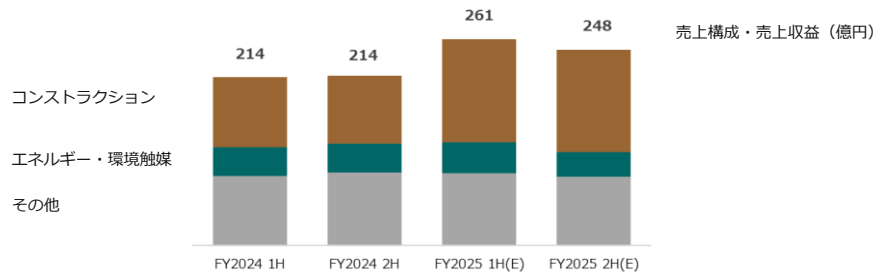
事業領域	主な製品
エレクトロニクス	光学フィルム用樹脂 レジスト材料 微粒子、色素、ヨウ素



事業領域	市場環境	当社の状況 (対前年)	今後の取組み
エレクトロニクス	<ul style="list-style-type: none"> 液晶ディスプレイ市場の中国シフトが継続 TV用パネルの大型化、パネル稼働率上昇などにより、液晶ディスプレイ用素材の需要は好調である一方、アメリカ関税などの外的要因による不透明感あり 	<ul style="list-style-type: none"> 中国向け液晶パネル関連製品の販売数量増 	<ul style="list-style-type: none"> ◆短期 <ul style="list-style-type: none"> 液晶ディスプレイ市場の中国シフトに対応した拡販 高付加価値製品の拡販 ◆中長期 <ul style="list-style-type: none"> 次世代ディスプレイ向けの新規製品開発 半導体をはじめとする中長期成長市場への参入

事業の状況【その他：コンストラクション】

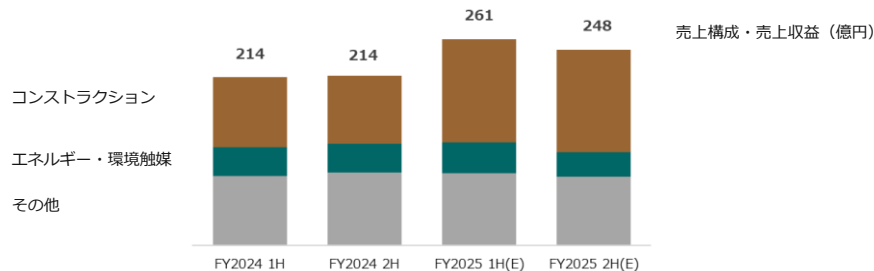
事業領域		主な製品
その他	コンストラクション	セメント混和剤ポリマー エマルジョン
	エネルギー・ 環境触媒	LIB用電解質 電解質シート、アンモニア分解触媒 排ガス処理触媒、排水処理触媒
	その他	ハウスホールド（洗剤原料） 健康・医療（核酸/ペプチドCDMO）他



事業領域	市場環境	当社の状況（対前年）	今後の取組み
コンストラクション	<p>【セメント混和剤ポリマー】</p> <ul style="list-style-type: none"> コンクリート関連の世界需要は伸長も、国内需要は減少傾向であり、さらに天候不順や技術者不足により、漸減 <p>【エマルジョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新築着工件数は減少傾向だが、国内リフォーム需要は堅調 	<p>【セメント混和剤ポリマー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内は、需要減少もシェア拡大により販売数量増 海外市場での中国・韓国品との競合により販売数量減少 <p>【エマルジョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 塗料用アクリル樹脂はリフォーム向けで堅調 新築の減少により窯業建材向け販売数量減少 	<p>◆短期</p> <p>【セメント混和剤ポリマー・エマルジョン共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存品のスプレッド維持拡大を図りながら、製品リニューアル・高機能製品等による事業収益改善・シェア拡大を目指す <p>◆中長期</p> <p>【セメント混和剤ポリマー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境対応型コンクリートをはじめとする社会課題解決型製品に注力 <p>【エマルジョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 汎用品から高付加価値品へのシフト 土木等の他用途展開と海外向けに注力 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> イーテック社とのシナジー創出

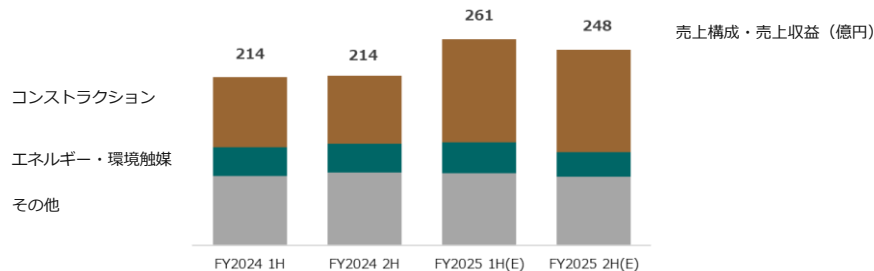
事業の状況【その他：エネルギー・環境触媒】

事業領域		主な製品
その他	コンストラクション	セメント混和剤ポリマー エマルジョン
	エネルギー・ 環境触媒	LIB用電解質 電解質シート、アンモニア分解触媒 排ガス処理触媒、排水処理触媒
	その他	ハウスホールド（洗剤原料） 健康・医療（核酸/ペプチドCDMO）他



事業領域	市場環境	当社の状況（対前年）	今後の取組み
エネルギー・ 環境触媒	<p>【電池】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国は成長鈍化ながらもEV販売堅調 欧米ではEV販売大幅減 SOFC市場は欧米韓で急拡大中 <p>【環境触媒】</p> <ul style="list-style-type: none"> 火力発電やごみ焼却に関連する市場はCO2排出抑制の観点から減少する傾向 CO2排出の少ない排ガス処理・排水処理触媒のニーズが高まっている 特に排ガス処理触媒は中国やEU地域での環境規制強化に伴い、需要が増加傾向 	<p>【電池】</p> <ul style="list-style-type: none"> イオネル[®]：中国市場の需要増に伴い中国JVはフル稼働 Zrシート：市場は拡大中だが、顧客の一時的在庫調整により大幅減販 <p>【環境触媒】</p> <ul style="list-style-type: none"> 排ガス処理触媒、排水処理触媒は海外顧客向けで販売増 脱硝触媒は石炭火力発電向けで2024年度は交換需要が無く販売減少 	<p>◆短期</p> <p>【電池】</p> <ul style="list-style-type: none"> イオネル[®]：中国市場の旺盛な需要増に対応 <p>【環境触媒】</p> <ul style="list-style-type: none"> 排水処理触媒、排ガス処理触媒の海外展開強化 <p>◆中長期</p> <p>【電池】</p> <ul style="list-style-type: none"> イオネル[®]：地産地消の戦略に沿った生産体制構築に向け、国内は北九州市に年産3千トンの新設備建設。中国は1万トンに能増。北米は検討継続も、新政権誕生により様子見。差別化のため、周辺材料の新規開発を加速 Zrシート：生産能力増強とコストダウン <p>【環境触媒】</p> <ul style="list-style-type: none"> GX関連製品（水素、アンモニア、CO2回収、エネルギー有効活用等）の開発・投入

事業領域		主な製品
その他	コンストラクション	セメント混和剤ポリマー エマルジョン
	エネルギー・ 環境触媒	LIB用電解質 電解質シート、アンモニア分解触媒 排ガス処理触媒、排水処理触媒
	その他	ハウスホールド（洗剤原料） 健康・医療（核酸/ペプチドCDMO）他



事業領域	市場環境	当社の状況（対前年）	今後の取組み
ハウス ホールド	<ul style="list-style-type: none"> インフレに伴う節約志向により、低価格帯にシフトする傾向 国内需要は微減傾向も、ワールドワイドでは洗剤需要は増加 	<ul style="list-style-type: none"> 高付加価値製品で使用される当社製品の販売数量減 海外市場において競合との価格競争激化により販売数量減 	<ul style="list-style-type: none"> ◆短期 <ul style="list-style-type: none"> 原価の上昇に伴う価格是正 ◆中長期 <ul style="list-style-type: none"> 需要に見合った生産体制の最適化 新高機能/環境対応製品(生分解等)に注力
健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> 中分子医薬品（核酸/ペプチド）は高い成長率を維持 成長率（2024~2030年） <ul style="list-style-type: none"> 核酸：22% ペプチド：3% 	<ul style="list-style-type: none"> 微量少量製造の獲得件数は昨年度年間受注件数の約2倍 大量製造案件についても案件受注と急成長 微量少量製造設備がフル稼働 	<ul style="list-style-type: none"> ◆短期 <ul style="list-style-type: none"> 大量製造設備の生産能力向上 北米展開強化 M&Aや他社アライアンスでの成長戦略の検討 ◆中長期 <ul style="list-style-type: none"> 中～大量規模の受託案件の取込み強化

参考資料：財務数値・市況

(億円)

	2024年 3月末	2025年 3月末	増減
現金及び現金同等物	551	546	▲ 6
営業債権	982	965	▲ 17
棚卸資産	844	843	▲ 1
その他	219	201	▲ 18
流動資産合計	2,597	2,555	▲ 42
有形固定資産	1,884	1,942	+58
無形資産	50	45	▲ 5
持分法で会計処理されている投資	265	300	+35
その他	645	594	▲ 50
非流動資産合計	2,844	2,882	+38
資産合計	5,441	5,437	▲ 4

	2024年 3月末	2025年 3月末	増減
営業債務	614	548	▲ 65
借入金	390	414	+24
その他	511	549	+38
負債合計	1,515	1,511	▲ 4
資本金	250	250	-
自己株式	▲ 24	▲ 73	▲ 49
利益剰余金	2,984	3,088	+103
その他	623	565	▲ 59
非支配持分	91	95	+4
資本合計	3,926	3,925	▲ 0
負債及び資本合計	5,441	5,437	▲ 4

D/Eレシオ (倍)	0.12	0.12
有利子負債	456	466

(億円)

	FY2023 通期実績	FY2024 通期実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	579	470	▲ 109
税引前利益	157	232	+75
減価償却費及び償却費	319	316	▲ 3
営業債権債務・棚卸資産の増減	148	▲ 50	▲ 198
その他	▲ 45	▲ 28	+17
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 157	▲ 305	▲ 148
フリーキャッシュ・フロー	422	165	▲ 257
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 284	▲ 168	+116
借入金が増減額	▲ 151	26	+177
自己株式の取得による支出	▲ 40	▲ 50	▲ 10
配当金の支払額	▲ 71	▲ 117	▲ 46
その他	▲ 23	▲ 27	▲ 4
現金及び現金同等物の期末残高	551	546	▲ 6

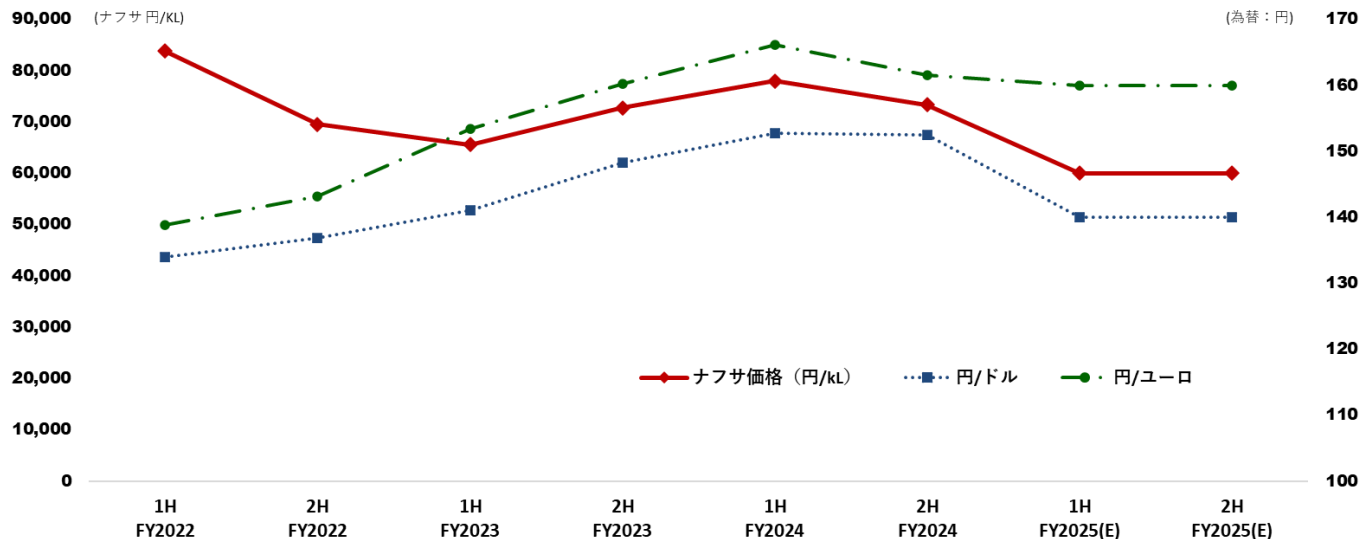
事業領域別 営業利益+持分法投資利益（上期・下期推移）

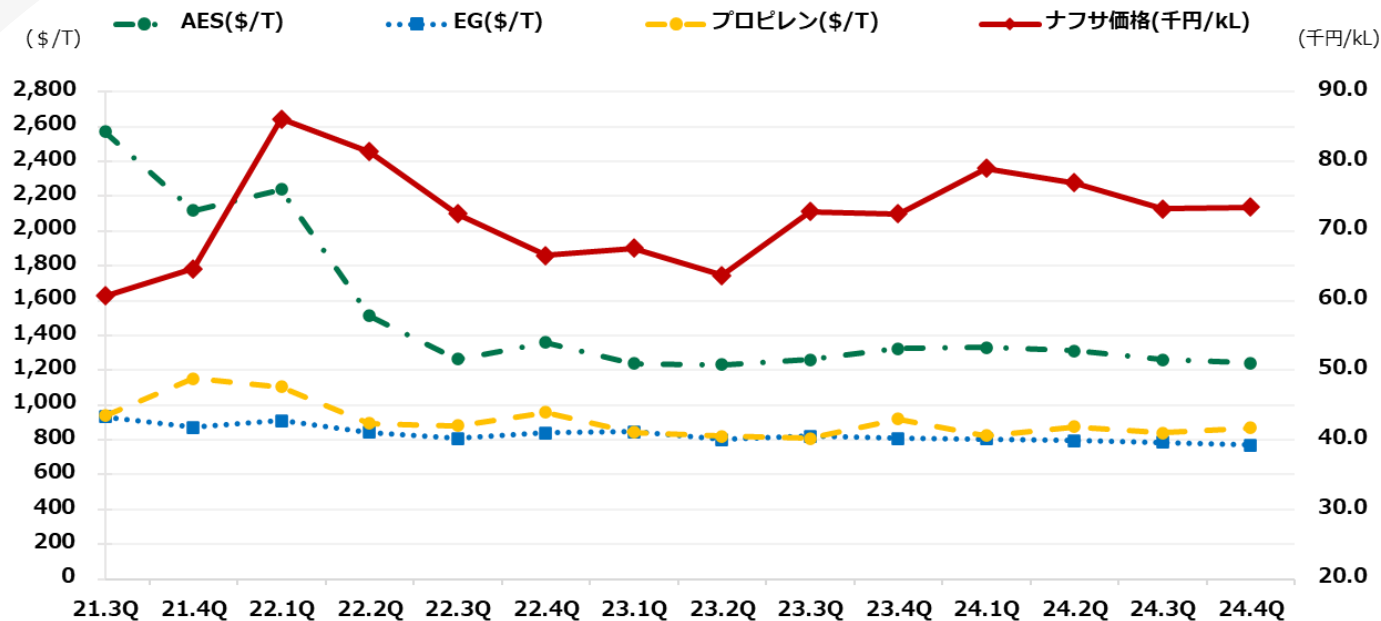
事業領域 (億円)	FY2024			FY2025 予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
AA・SAP	61	34	95	39	42	81
EO他	30	34	64	28	15	43
マテリアルズ事業	91	68	159	67	57	124
スペシャリティ	25	27	53	26	25	51
エレクトロニクス	15	22	36	17	21	38
その他	▲ 12	▲ 15	▲ 28	▲ 15	▲ 12	▲ 27
ソリューションズ事業	27	34	61	28	34	62
全社共通	3	7	10	4	3	7
全社合計	122	109	231	99	94	193

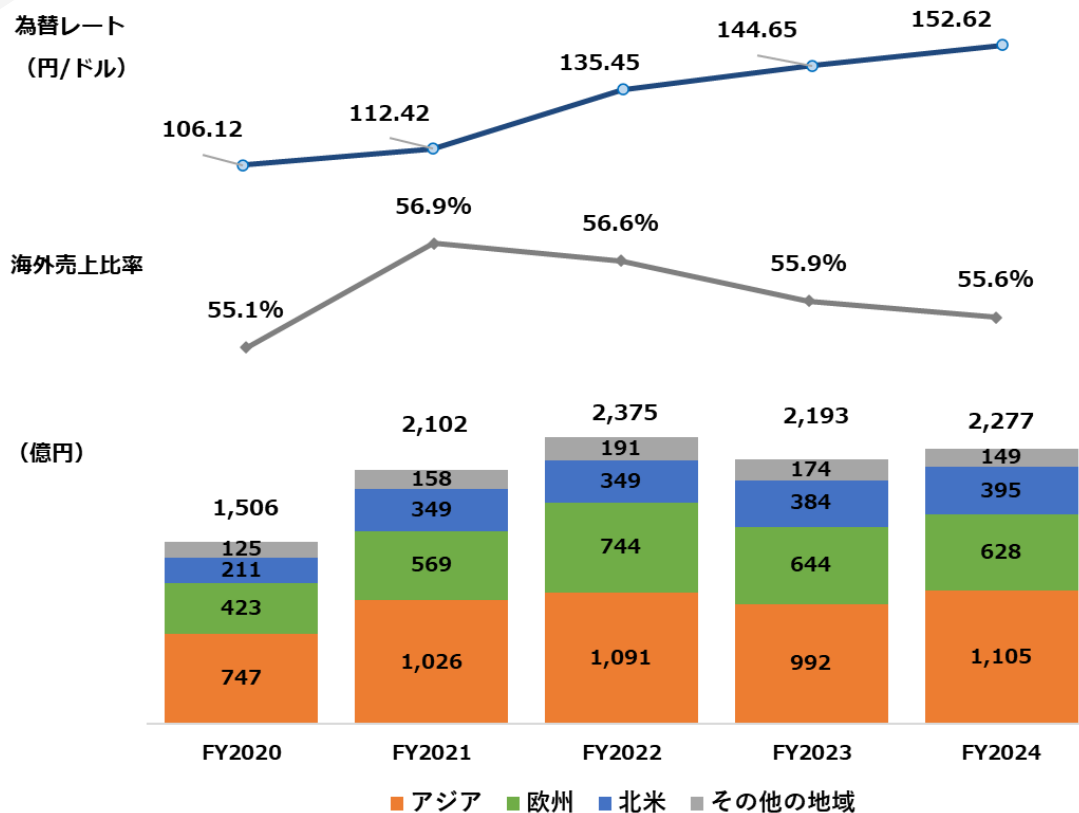
(億円)

項目	FY2023 上期実績	FY2023 通期実績	FY2024 上期実績	FY2024 通期実績	FY2025 ＜通期予想＞
設備投資	83	168	96	378	565
減価償却費及び償却費	160	319	158	316	310
研究開発費	77	151	79	157	169
EBITDA	266	493	290	561	525
有利子負債残高	493	456	387	466	729
親会社の所有者に帰属する持分	3,796	3,834	3,815	3,830	3,713
資産合計	5,404	5,441	5,227	5,437	5,700
D/Eレシオ (倍)	0.13	0.12	0.10	0.12	0.20
自己資本比率 (%)	70.2	70.5	73.0	70.5	65.1
売上高営業利益率 (%)	5.1	4.2	5.1	4.7	4.2
ROA (%)	3.7	2.9	4.7	4.3	3.6
ROE (%)	3.7	3.0	4.7	4.5	4.0
ROIC (%)	3.6	2.9	4.3	4.3	3.5

	1H FY2022	2H FY2022	1H FY2023	2H FY2023	1H FY2024	2H FY2024	1H FY2025(E)	2H FY2025(E)
ナフサ価格 (円/kL)	83,800	69,500	65,600	72,700	78,000	73,300	60,000	60,000
円/ドル	134	137	141	148	153	152	140	140
円/ユーロ	139	143	153	160	166	162	160	160

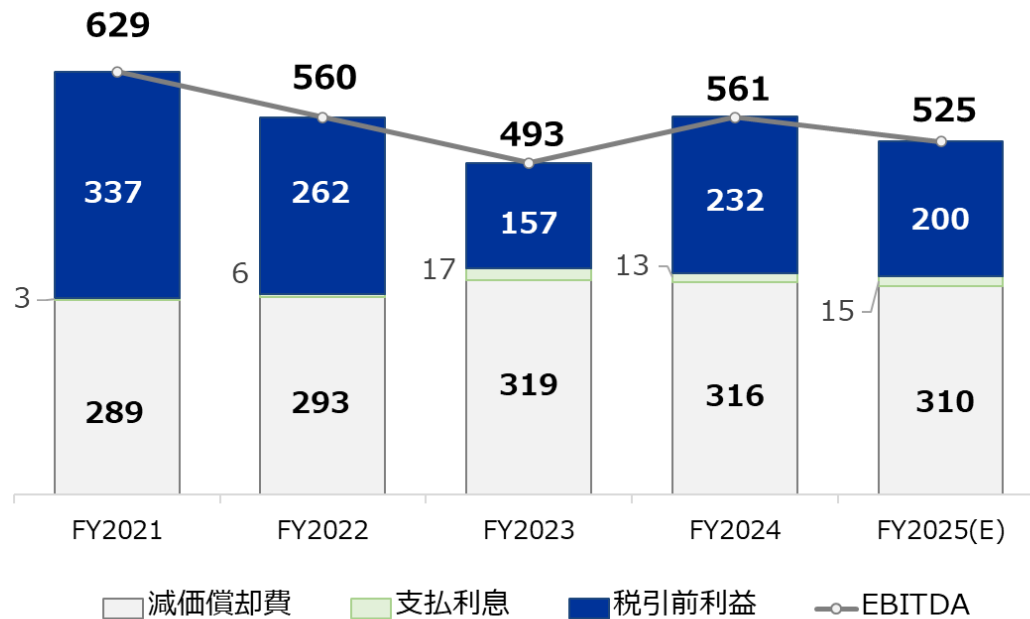






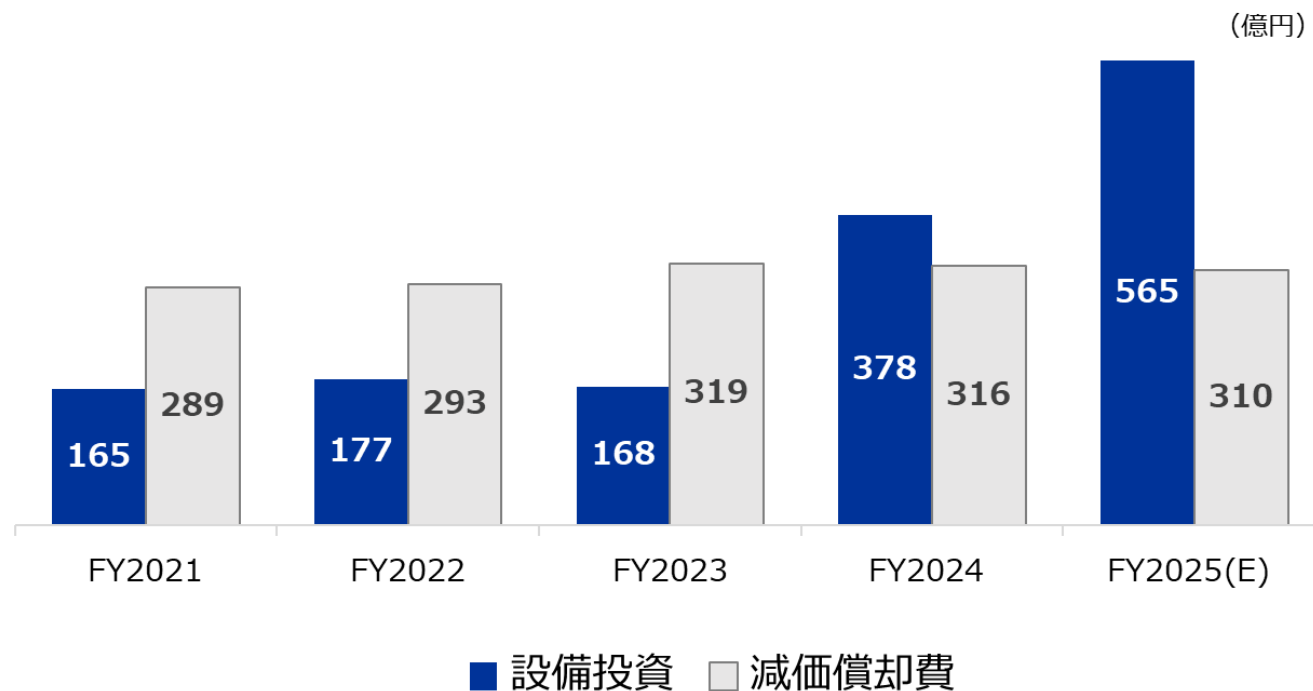
EBITDAの推移

(億円)

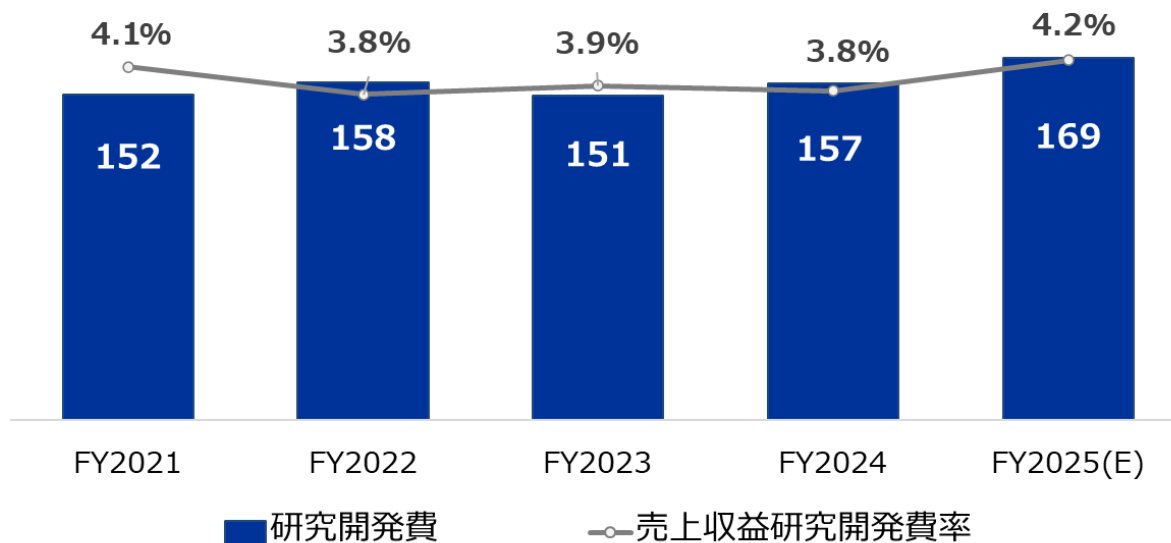


(* EBITDA=税引前利益+減価償却費+支払利息)

設備投資額と減価償却費の推移



(億円)



◆ 2025年度第1四半期 決算発表

2025年8月7日(木) 13:00

この予定は、都合により予告なく変更となる可能性があります。

本資料は、投資判断の参考となる情報提供を目的としているものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。また、記載されている内容は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した内容を含んでおり、記載された内容を確認したり、保証するものではありません。実際の業績は、様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

お問合せ先：

株式会社日本触媒 コーポレート・コミュニケーション部

E-mail: ns_ir@shokubai.co.jp